

テーマ	情報技術の進展が社会に及ぼす影響について調べてみよう				
概要	各班で調査研究した内容を班別にWEBページで発表する				
ねらい	情報技術の進展が社会にどのような功罪をもたらしているのかを理解させる				
関連する主な科目・項目	情報B・情報産業と社会・情報と表現	難易度	易・普・難	想定時間数	約8時間
準備するもの	WEB作成支援・ブラウザソフトなど	作成者	相川 長徳		

## 1 学習の展開

### 8時間の使い方

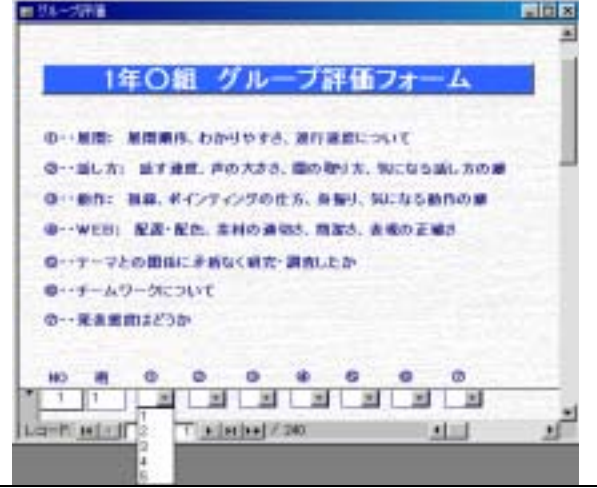
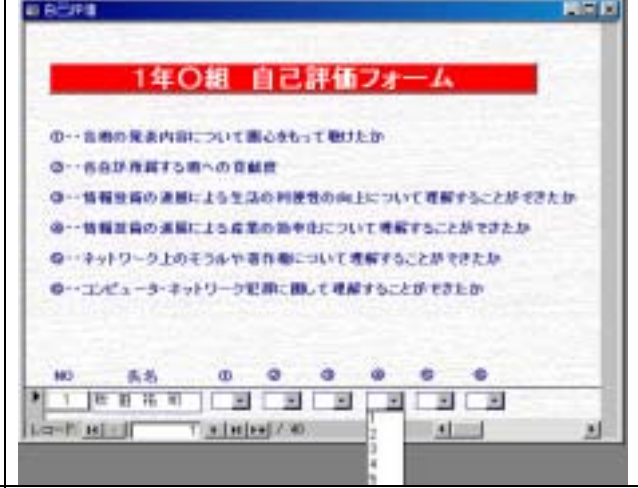
第1・2時 1	<p>(情報技術の進展が社会に及ぼしてきた影響) 情報技術の進展による生活の利便性の向上や産業の効率化・生産性の向上などがもたらされた一方で、問題が生じています。今回はこれ(「影」の部分)について検討します。</p> <p>(課題選択・班編成・役割分担・行動計画) 次の4つのうちからどれかを選択して調査します。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 情報技術の進展による生活の利便性の向上について</li> <li>2. 情報技術の進展による産業の効率化について</li> <li>3. コンピュータ犯罪について</li> <li>4. ネットワーク上のモラルや著作権について</li> </ol>
第3・4時	<p>(情報収集) 情報通信ネットワークや新聞などを活用して情報収集します。</p> <p>(WEBページの構成計画) WEBページの構成について各班で検討します。</p> <p>(WEB作成支援ソフトの利用) 2 WEB作成に関する必要最小限の知識・技術を身につけます。</p>
第5・6時	(WEBページの作成と発表準備)
第7・8時	<p>(発表・相互評価・自己評価) 各班の発表を受け相互評価と自己評価をします。</p>

- 1 講義中心で後半に班編成を行います。情報収集を授業時間外や学校外で行う場合は、役割分担や行動計画を綿密に立てます。
- 2 パソコン操作に不慣れな生徒が多い場合、「WORD」等のファイルをWEB形式に変換する手法を用います。

## 第7・8時の使い方

<p>[第7時] 導 入 (5分)</p>	<p>○発表心得について学習します。</p>
<p>展 開 (45分)</p> <p>[第8時] (30分)</p> <p>(10分)</p>	<p>○各班5～6分ずつで発表します。 発表者は各班で調査研究した内容をWEBページを利用して発表します。 (プロジェクト使用)</p> <p>1班 情報技術の進展による生活利便性の向上 2班 情報技術の進展による産業の効率化 3班 コンピュータ犯罪 4班 ネットワーク上のモラルや著作権 5班 情報技術の進展による生活利便性の向上 6班 情報技術の進展による産業の効率化</p> <p>○各班のWEBページを閲覧しながら各班に対する評価を項目ごとに入力します。</p> <p>○自己評価を入力します。</p>
<p>まとめ (10分)</p>	<p>○情報の信頼性や信憑性、著作権の尊重について再確認します。</p> <p>○感想文を書きます。(時間内に書けない場合は宿題になります。)</p>

あらかじめ、データベースソフトで簡単な評価入力システムを作成しておきます。

	
<p>各班に対する評価入力フォーム</p>	<p>自己評価フォーム</p>

- ・ ネットワーク環境を利用してWEBの閲覧と評価入力を行います。
- ・ グループ評価については、集計シグラフ化するクエリを作成しておく、生徒全員が入力し終えた段階で各班をみんながどのように評価したかということが一目瞭然になります。

## 2 発展的な学習

他の三つの課題に取り組みWEBページを増やしていきます。